

がいかい

杉並区議会だより

NO.191
平成20年1月1日発行

発行/杉並区議会 編集/杉並区議会事務局 〒166-8570 杉並区阿佐谷南1-15-1 FAX 5307-0695

☎3312-2111

お知らせ
区議会を傍聴しましょう
今年の第1回定例会は2月16日
土曜日に開会します。
ぜひ、本会議場で生の議会を
ご覧ください。
(詳細は2月12日以降に区議会事務局へ)
<http://www.gikai.city.suginami.tokyo.jp/>
携帯サイト <http://www.gikai.city.suginami.tokyo.jp/mobile/>



迎春 2008年

本年もよろしく
お願い申し上げます
杉並区議会議員一同



新年のごあいさつ



杉並区議会議長
河野 庄次郎

区民の皆様には、お健やかに新しい年をお迎えのこととお慶び申し上げます。年頭に当たり、杉並区議会を代表いたしまして、ご挨拶を申し上げます。

昨年4月の区議会議員選挙では、新人13名を含む48名が当選いたしました。その結果、女性議員が16名と全議員の3分の1を占め、議員の平均年齢も50歳を切るという、まさに「新生」区議会がスタートいたしました。

また、流行語大賞にもなった「ハニカミ王子」こと杉並学院高校1年の石川遼選手の名男子プロゴルファーでの史上最年少優勝は、杉並の名を全国にとどろかし、区民に元気を与える「新星」の誕生でありました。

杉並区政においても昨年は「次の世代へつなげる予算」のもと、誰でも気軽に子育てサービスを利用できる「子育て応援券」の配付や、メタボリックシンドローム予防対策の「ウエストサイズ物語」の展開、「レジ袋有料化」のモデ

ル事業を区内スーパーマーケットで継続実施など、さまざまな施策を進めてまいりました。

新生区議会といたしましても、区民の皆様の声や区政に反映するとともに、政策チェック機能や政策立案機能の向上、充実に力を入れてまいりました。そして、何よりも議会や区政をいかに区民に分かりやすく、身近なものにしていくのかという視点を常に心がけながら議会の改革にも取り組んでおります。

議会の内部には、区民の信頼を一層高め、議会活動をより活性化していくため「議会改革に関する検討調査部会」を設けております。これまでの検討の成果としては、18年度から、月額六〇〇円支給されていた費用弁償を廃止し、19年度からは、政務調査費収支報告書に領収書を添付することを義務付けました。

また、本年からの議会改革の一環として、第1回区議会定例会の初日を2月16日土曜日とする「土曜議会」を開催いたします。普段議会を傍聴できない皆様、どうぞ議場に足をお運びください。あわせて、区議会本会議の模様を録画により「インターネット中継」し、24時間お好きな時間にご自宅で視聴できるようにいたします。

区民の皆様のご理解とご協力をあらためてお願い申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。

議会改革に取り組んでいます

区民の皆様には、議会をより身近に感じていただくために、第1回定例会から、新たに次のことを始めます。

土曜議会の開催(2月16日)!

平日、議会の傍聴ができない方、ぜひ一度、傍聴にきてみませんか。

午前10時(予定)から、区長による区政の基本方針を表明する予算編成方針の概要説明と、それに対して、議会の各党派が区政のあり方を問う、代表質問が予定されています。

6月及び11月の定例会においても、土曜議会は予定されています。

インターネット中継をスタート!

本会議の様子は24時間いつでも見ることのできる録画継ぎです。お好きな時間にご覧ください。

1日1委員会の開催!

委員会を傍聴しやすくするため、定例会中の常任委員会は、1日につき、ひとつの委員会を開催することとしました。

平成19年第4回定例会

第4回定例会は、11月27日から12月10日までの14日間の会期で開催されました。その内容をお知らせします。

初日の27日は、特別委員会の活動報告が行われた後、一般質問が行われ、30日までの4日間で13名の議員が区政一般について質問しました。

30日には、議案が上程され、直ちに採決の行われた人事案件などを除き、関係する各委員会に付託しました。

12月3日から7日にかけては、各常任・特別委員会を開き、条例案件、補正予算等の審査・調査を行いました。

最終日の10日は、各委員会から議案の審査報告があり、採決の結果、全ての議案を可決しました。続いて、選挙管理委員と同補充員の選挙を行い第4回定例会を閉会しました。

主な議案の概要

条例改正

する法律の施行の日) 保育の実施等に係る費用徴収 条例の一部改正

条例の一部改正 保育料算定の基準となる階層区分の所得税額を改める等の必要があるため改正する。(20年4月1日施行) 区営住宅条例の一部改正 都営住宅の移管による区営

学校の衛生管理等に関する 学校教育法の一部改正 学校の衛生管理等に関する 学校の衛生管理等に関する 学校の衛生管理等に関する

住宅一箇所の設置に伴い、その名称及び位置を定める等の必要があるため改正する。(20年2月1日施行)

予算

19年度一般会計補正予算(第3号)

区議会インターネット中継や、施設整備基金積立金に要する経費。予算総額一千五百五十一億六千四百二十二万円(増減なし)

人事

人権擁護委員候補者の推薦 任期満了に伴う候補者として、柳澤純子(やなぎさわじゆんこ)氏の推薦に同意。

その他

負担付き譲与の受領 区営住宅用として、土地、建物、工作物の負担付き譲与を受け、これを区有財産として取得する必要がある。 名誉区民を定める

区制75周年にあたり、貴重な伝統文化の優れた伝承者である、山彦節子(やまびこせつこ)氏、金春惣右衛門(こんはるそうごもん)氏、(こんはるそうごもん)氏、(こんはるそうごもん)氏、安福建雄(やすふくたつお)氏、佐々木苑子(ささきそのこ)氏の4名を杉並名誉区民に定めることに同意。

選挙管理委員会及び同補充員の選挙

本会議最終日の12月10日、次の方々を選出しました。

- | | |
|-----|-------|
| 委員 | 押村 貞子 |
| 〃 | 塩原 榮子 |
| 〃 | 小林 義明 |
| 〃 | 本橋 文将 |
| 補充員 | 大橋とも子 |
| 〃 | 青木 實 |
| 〃 | 曾山 繁 |
| 〃 | 織田 宏子 |



会派名

杉自/杉並自民議員倶楽部、公明/杉並区議会公明党、民主/民主党杉並区議団、共産/日本共産党杉並区議団、社み/社会民主党・みどり、杉ク/区政杉並クラブ、生ネ/区議会生活者ネットワーク、自民/自由民主党杉並区議団、革新/都政を革新する会、無/無所属、杉わ/杉並わくわく会議、無区/無所属区民派

請願・陳情

12月10日の本会議で、次のとおり決定しました。

☆割賦販売法の抜本的改正を求める意見書を政府等に提出することに関する請願(19請願第7号)

☆悪質商法を助長するクレジットカードの被害を防止するため、割賦販売法の抜本的改正を求める意見書を政府等に提出することに関する請願(19請願第9号)

一般質問

地域や商店街の構造的な衰退に総合的な振興策を求める



大熊昌巳 (杉自)

商店会・商店街振興のため、産業振興計画の改定に当たり、住民参加による中長期を見据えた基本的な計画を検討すべきであるが考えを問う。



北島邦彦 (革新)

区長は、米軍再編推進法に基づく交付金に格差をつける政府の姿勢に反対の意志を表明すべき。

地方分権と国策の問題は安全保障上、分けて考えるべき。交付金は規定に基づき適切に支給されていると認識。

民間委託による清掃事業の受託企業の労働条件・環境が、過酷・危険であるのが現実。発注元の区は住民の福祉の増進という自治体の責務に背反する事態と考えるが、

委託事業者との契約書仕様書、作業指示書等で作業の内容、安全対策等を網羅しており、きちんとした業務がされていると考えている。

区独自で教員を採用するとしても、受験資格を師範館卒塾者に限定すべきではない。師範館は広くその門戸が開かれている。区独自の教員は、師範館で1年間実践的なトレーニングを受けて養成し配置していくことが望ましい。

「水」の総合計画を策定せよ 師範館を福祉専門教育機関に

特別支援教育において、教師の発達障がい児への理解と指導力が不十分。今後、師範館を福祉に特化した専門養成機関として位置づけては、

師範館を福祉専門にはしないが、特別支援教育のキャリアラムを充実し、理解を深めるよう協議していく。

固定の特別支援学級9校では不足。増設を。また、やむを得ず隣接区市の特別支援学級に入学を希望する区民居住者に対し配慮ある対応を。

増設は特別支援教育推進計画に係る課題として今後検討する。隣接区市への通学は特別な事情がある場合当該区市と連絡調整し対応している。

水問題は雨水、地下水、緑地、生き物、歴史・文化、近隣自治体などが関係してくる。水の総合計画を策定し関連部署の横断的連携を進めよ。

後期高齢者医療保険実施反対教育基本条例の白紙撤回を!

後期高齢者医療保険実施反対教育基本条例の白紙撤回を!

けしは誠一 (無区)



けしは誠一 (無区)

都民に賛否両論があるオンラインピック招致署名を行政が主導することは、行政の公平中立性を犯すものではない。

都、区町会連合会が行ったもの。主導した事実はない。後期高齢者医療の保険料

は介護保険料を加え月1万円超。低所得者対策は不可欠。

低所得者対策は必要と認識。都への財政支援要請も含め、軽減策を実施する予定。

公衆浴場支援の抜本的強化を。空白地のゆうゆう館入浴サービスの一部を継続を。

公衆浴場支援は浴場組合の意見などを聞き、取り組む。全廃は様々な検討の結果、区の方針として決定したもの。

教育基本条例白紙撤回を。幅広く関係団体等のご意見を聞き、十分検討していく。

沖縄戦の記述が3行の扶桑社版歴史教科書採択し直しを。発行されなくなった場合などを除き、法律等において採択のやり直しはできない。

地域安全情報共有し、安全・安心なまちづくりを

学校の授業で保護者や町会等を巻き込んで地域安全マップを作成し、地域の結び付きや防犯意識を向上させては、また、区民に配布し地域の情報を共有すべきではないか。

小学校では保護者などと作成している。今後も地域住民の協力を得て地域ぐるみの防犯意識の向上に取り組んでいく。マップ情報の共有は、児童の安全を地域ぐるみで守っていただく視点からも重要なことと認識。今後、情報共有の手法などについても検討していきたい。

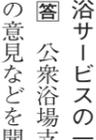
防犯に配慮した区立公園への改修を行う場合、標準的な規格や仕様はあるのか。また有識者から助言を得られる環境を整えるべきではないか。

実施計画に基づき計画的に行う大規模な改修時には、都の公園の防犯上の指針に従

い改修を行う。警察などと連携し、必要に応じて有識者から助言を得る場合もある。

荻窪駅南側に遊び場・オーブンスペースを

くすやま美紀 (共産)



くすやま美紀 (共産)

荻窪5丁目17番に8階建てマンション建設が計画されている。事業者から区へ予定地の売却の話はあったのか。

事業者の開発利益等を含めた金額であれば売却もありうるとの話だった。そうした価格での交渉はありえない。

幼児期の外遊びは重要だが、荻窪4・5丁目は子どもたちが遊べる公園・広場が不足している。区の認識と今後の整備方針について伺う。

当該地域は駅から至近の地域で高度利用が可能な地区。公園整備は想定していない。荻窪南地域全体で対応する。

マンション予定地を区が取得し子どもたちや住民のために資することは有効であり必要と考える。取得する姿勢で早急に検討するよう求める。

事業者は建設業者を決定し事業を進めている。区として当該地を取得することは考えていない。

「安静」といわれているのに介護認定1とはひどい!

自公政権下、高齢者には未曾有の負担増となっている。「介護の社会化」という理念も捨てられ、望むサービスも受けられず、認定の切下げも発生。介護サービス、認定など世田谷区より厳しいと聞く。給付費を抑えるために厳しく

しているのでは。また、介護保険法改悪でサービス事業者もケアマネ・ヘルパーも大変だ。支援策を求めるが如何か。

サービス給付費を抑えるために介護認定を厳しくしていることはない。人材確保の困難を認識。労務管理の研修などを支援している。

放5計画の現状は如何か。土地買収、代替地など住民の要望に答えるよう都に求めよ。

技術的な検討をしており、生活再建も最優先対応と聞く。

高井戸小など冷房が設置される。50年後の減税でなく学校のクーラー設置に使用を。徹底したエコスクール化を図り、補助的に設置を図る。

民間賃貸住宅の家賃助成制度創設を!

有料化は削減に有効であり、検討会の報告を踏まえ条例を策定することにした。

区内小学校を通じてサンケイリビング社の雑誌「エコリ」が配布されているが、公立小学校が企業の営業活動に利用されてはならない。また、児童にも配布の一端を担わせており教育上問題がある。配布は中止すべき。

民間との協働で有益な情報を提供しているもの。中止の考えはない。

ゆうゆう館の入浴サービスを廃止するな。公衆浴場を守れ

区独自の介護サービス充実を「エコリ」配布中止を求める

松尾ゆり (杉わ)

介護保険制度の変更により困っている区民が多い。当面、杉並区独自の上乗せ・横出しサービスを早急に実施すべきと考えるがいかがか。

配食など日常生活支援サービスを実施しており、上乗せを実施する考えはない。

レジ袋削減は「条例」ではなくゆるやかな「協定」とし、有料化のみならず多様な削減努力を進める手法が望ましいと考えるが。

有料化は削減に有効であり、検討会の報告を踏まえ条例を策定することにした。

区内小学校を通じてサンケイリビング社の雑誌「エコリ」が配布されているが、公立小学校が企業の営業活動に利用されてはならない。また、児童にも配布の一端を担わせており教育上問題がある。配布は中止すべき。

民間との協働で有益な情報を提供しているもの。中止の考えはない。

ゆうゆう館の入浴サービスを廃止するな。公衆浴場を守れ

来年4月からゆうゆう館の入浴サービスが廃止される年間のべ4万人の利用者があり、「廃止されると困る」との声が多数寄せられた。今でも介護予防、コミュニティの場であり、継続すべきだ。

コストや利用実態を勘案し、地域の活動拠点の役割を

果たすため、入浴サービスを抜本的に見直すこととした。

地方税法6条を適用し、区独自に住民税の減税をすべきだが、どうか。

軽減措置は法的に可能だが、多くの問題がある。

後期高齢者医療は保険料が現在の国保料より高くなり、包括払い方式によって治療も薬も制限される残酷な制度だ。国に対して撤回を求めるべき。

増大する高齢者医療費に対応しつつ、高齢者に適切な医療を提供するために、いくつかの課題はあるが、必要な制度であり、国に撤回を求める考えはない。

高齢者や障害者・母子家庭などへ、住宅政策の拡充を!

民間アパートにお住まいの方のために、高齢者入居支援制度の充実が必要。対象者を障害者、母子家庭などにも広げ家賃などの債務保証を。

民間住宅入居支援策を検討すべき時期。債務保証等は今後の重要な住宅施策。助成制度の創設を検討し、障害者・ひとり親世帯にも債務保証支援制度を適用していく。

すぎ丸バスのサービス向上のために、アンケート調査を実施し、利用者本位のサービス向上を目指しては如何か。

アンケート調査や利用者懇談会等の声を大切に、区民の交通として今まで以上に愛着を持って支えられるすぎ丸バスを目指していきたい。

「小学校の学習発表会」をより効果的に実施しては、プログラム等の周知で一層参観を促す。また連携・一貫教育校の小中合同開催、分単位の合同発表会等、各校の実態に基づき検討していく。

大槻城一 (公明)

民間アパートにお住まいの方のために、高齢者入居支援制度の充実が必要。対象者を障害者、母子家庭などにも広げ家賃などの債務保証を。

民間住宅入居支援策を検討すべき時期。債務保証等は今後の重要な住宅施策。助成制度の創設を検討し、障害者・ひとり親世帯にも債務保証支援制度を適用していく。

すぎ丸バスのサービス向上のために、アンケート調査を実施し、利用者本位のサービス向上を目指しては如何か。

アンケート調査や利用者懇談会等の声を大切に、区民の交通として今まで以上に愛着を持って支えられるすぎ丸バスを目指していきたい。

「小学校の学習発表会」をより効果的に実施しては、プログラム等の周知で一層参観を促す。また連携・一貫教育校の小中合同開催、分単位の合同発表会等、各校の実態に基づき検討していく。

会議録の発行について

本紙掲載の質問と答弁は、一部を抜粋したものです。詳しい内容は、区政資料室、区立図書館、地域区民センター、区民集会所で会議録をご覧ください（2月下旬発行予定）。会議録は、区議会ホームページでもご覧いただけます。

第4回定例会で審議した議案等の結果											
平成19年12月10日議決(※は11月30日)											
○=賛成 ×=反対											
番号	議案名等	杉自	公明	民主	共産	社民	杉ク	生ネ	自民	革新	結果
議案第68号	杉並区プールの衛生管理等に関する条例等の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	×	可決
議案第69号	杉並区保育の実施等に係る費用徴収条例の一部を改正する条例	○	○	○	×	○	○	○	○	×	可決
議案第70号	杉並区営住宅条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	×	可決
議案第71号	負担付き譲与の受領について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第72号	平成19年度杉並区一般会計補正予算(第3号)	○	○	○	○	○	○	○	○	×	可決
議案第73号~第76号	杉並名誉区民を定めることについて※	○	○	○	○	○	○	○	○	×	同意
議案第77号	人権擁護委員候補者の推薦について※	○	○	○	○	○	○	○	○	×	可決
議員提出議案第11号	割賦販売法の抜本的改正を求める意見書	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議員提出議案第12号	原爆症認定制度の抜本改善を求める意見書	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
委員会提出議案第2号	在日外国人無年金高齢者及び障害者に対する救済措置に関する意見書	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
報告第9号	地方自治法第180条第1項の規定により指定された契約金額の増減の専決処分をしたことの報告について※	-	-	-	-	-	-	-	-	-	報告聴取

《会派名・構成人数》
 杉自/杉並自民議員倶楽部(13人)、公明/杉並区議会公明党(8人)、民主/民主党杉並区議団(7人)、共産/日本共産党杉並区議団(6人)、社民/社会民主党・みどり(3人)、杉ク/区政杉並クラブ(3人)、生ネ/区議会生活者ネットワーク(2人)、自民/自由民主党杉並区議団(2人)、革新/都政を革新する会(1人)、無/無所属(1人)、杉わ/杉並わくわく会議(1人)、無区/無所属区民派(1人)

多文化共生の教育を。区民に三井との覚書遵守を明言せよ。



奥山たえ子 (社民)

「教育基本条例等に関する提言」の中に多文化共生の視点はありますか。「独自の伝統精神文化」を打ち出し、その具体例として「勤勉性」をあげたが日本にしかないのか。

多文化という記述はないが、他者との関係を大切にのちに考えが盛り込まれている。戦後の急速復興は日本、日本人の特長のひとつと考えている。

杉並区が三井不動産と交わした覚書は紳士協定であり、法的拘束力がない。もし避難有効面積が確保されなかった場合、区は三井を法的な手段に



堀部やすし (無)

公務員の給与体系 官資格差の是正が必要

本年度の人事委員会勧告を実施すると、職員一人あたりの平均給与は約2万円上昇し、23区全体では約8億円の財政的影響が発生する。

現業系職員の賃金水準は確かに国や他の自治体に比べて高い。時機を失することなく引き下げを行いたい。

区長及び副区長に対して給料外に支給される地域手当については課題が多い。

調査対象が異なっており、単純な比較は困難である。

職員の平均給与は、共済費を除いて、約730万円であるが、とくに現業系職員は民間同職種と比較して非常に高い水準にある。すみやかに官資格差を是正すべきだ。

現業系職員の賃金水準は確かに国や他の自治体に比べて高い。時機を失することなく引き下げを行いたい。

しかし、国税庁の民間給与実態統計調査によれば、民間人の平均給与は年43.5万円。これは前年比0.4%の減、金額にして2万円の減少である。この差をどう考えるか。

調査対象が異なっており、単純な比較は困難である。

職員の平均給与は、共済費を除いて、約730万円であるが、とくに現業系職員は民間同職種と比較して非常に高い水準にある。すみやかに官資格差を是正すべきだ。

現業系職員の賃金水準は確かに国や他の自治体に比べて高い。時機を失することなく引き下げを行いたい。

区長及び副区長に対して給料外に支給される地域手当については課題が多い。

意見書

第4回定例会で次の意見書を議決し、地方自治法第99条の規定に基づき、関係機関に提出しました。

割賦販売法の抜本的改正を求める意見書

〔提出先〕

衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、経済産業大臣

クレジット契約は、代金後払いで商品が購入できる利便性により消費者に広く普及している一方で、強引・悪質な販売方法と結びつくと、高額かつ深刻な被害を引き起こす危険性をはらんでいる契約方法である。

現在、クレジット会社の与信審査の甘さから、年金暮らしの高齢者に対し、支払能力を超える大量のリフォーム工事、呉服等の販売が繰り返されたり、年齢・性別を問わず、クレジット契約を悪用したマルチ商法・内職商法、その他の詐欺的商法の被害が絶えないところである。このようなクレジット被害は、クレジット契約を利用するがゆえに悪質な販売行為を誘発しがちとなる。クレジット契約の構造的危険性から生じる病理現象であると言える。

経済産業省の産業構造審議会割賦販売分科会基本問題小委員会は、このように深刻なクレジット被害を防止するため、平成十九年二月から、クレジット被害の防止と取引適正化に向けて割賦販売法の改正に関する審議を進めており、本年中には報告書が取りまとめられる見込みにある。今回の改正においては、消

費者に対し、安心・安全なクレジット契約が提供されるために、クレジット会社の責任においてクレジット被害の防止と取引適正化を実現する法制度が必要である。

よって、杉並区議会は、国会及び政府に対し、割賦販売法改正に当たっては次の事項を実現するよう強く要請するものである。

一 クレジット会社が、顧客の支払能力を超えるクレジット契約を提供しないように、具体的な与信基準を伴う実効性ある規制を行うこと。

二 クレジット会社には、悪質販売行為等にクレジット契約を提供しないように、加盟店を調査する義務だけでなく、販売契約が無効・取消し・解除となる場合は、既払金の返還義務を含むクレジット会社の民事共同責任を規定すること。

三 一回又は二回払いのクレジット契約を適用対象に含め、政令指定商品制を廃止することにより、原則としてすべてのクレジット契約を適用対象とすること。

四 個品方式のクレジット事業者（契約書型クレジット）について、登録制を設け、契約書面交付義務及びクーリング・オフ制度を規定すること。

平成19年12月10日

原爆症認定制度の抜本改善を求める意見書

〔提出先〕

衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、総務大臣、厚生労働大臣

〔内容〕

広島・長崎で原子爆弾の被害を受け、「被爆者健康手帳」の交付を受けている被爆者は全国に二十五万人以上存在し

ているが、「原爆症」と認定されている被爆者はわずかにパーセントにも満たない約二千二百人に過ぎない。

このような状況の中、全国の被爆者が原爆症の認定を求めて各地で集団訴訟を起こしてきた。

昨年から大阪地裁、広島地裁では原告全員について、今年三月の東京地裁などでも一部原告について「原爆症」と認定されるべきとの判決が出されたにもかかわらず、国は控訴するなど認定を拒み続けている。

被爆者の多くは高齢で、白血病などのがんや様々な病気に苦しみながら不安な毎日を送っているといわれており、原爆症認定制度の改善は待たなしの時期を迎えている。

本年九月に、厚生労働省は、内閣総理大臣より見直しの指示を受けて、「原爆症認定の在り方に関する検討会」を立ち上げたが、先行きは未だ不透明であり、被爆から六十年以上が経過し、高齢化している被爆者の人道的、社会的見地から一刻の猶予も許されるものではない。

よって、杉並区議会は、国会及び政府に対し、原爆症認定制度の早急な抜本的改善と、被爆者の立場に立った支援を行うよう強く要請する。

平成19年12月10日

在日外国人無年金高齢者及び障害者に対する救済措置に関する意見書

〔提出先〕

衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、総務大臣、厚生労働大臣

〔内容〕

昭和五十七年の難民条約の批准に伴う国籍要件の撤廃に

よって、我が国に定住する外国人も国民年金の適用対象となった。

しかし、在日外国人で、当時二十歳以上で既に重度障害のあった者や、さらには昭和六十一年の国民年金法改正時に六十歳以上であった高齢者については救済措置が講じられず、いわゆる「制度的無年金者」となっている。

平成十六年十二月に公布された「特定障害者に対する特別障害給付金の支給に関する法律」によって、障害基礎年金を受給できない学生無年金障害者などは救済されたが、在日外国人無年金障害者については支給の対象とならなかった。

また、在日外国人無年金高齢者についても依然として救済されない状況が続いている。よって、杉並区議会は、国会及び政府に対し、在日外国人無年金障害者及び高齢者に対する救済措置を早急に講ずるよう強く要請する。

平成19年12月10日

障害者区議会 中学生区議会を議場で開催

障害者区議会 12月13日(木)、「地域で自立して生活するために」をテーマに開催されました。

中学生区議会 12月17日(月)、「みんなで作る私たちのまち杉並」をテーマに開催されました。

ホームページのご案内

杉並区議会のホームページには、会議録・審議した議案・会議日程・区議会だよりなどを掲載しています。

また、20年第1回定例会から本会議の録画の中継もご覧いただけます。
<http://www.gikai.city.sugi.nami.tokyo.jp/>

議会日程

11月	4日	災害対策特別委員会
13日	保健福祉委員会	
16日	医療問題調査特別委員会	
20日	議会運営委員会	
27日	29日	本会議
30日	議会運営委員会	
12月	3日	区民生活委員会
4日	都市環境委員会	
5日	保健福祉委員会	
6日	文教委員会	
7日	総務財政委員会	
8日	区民生活委員会	
9日	総務財政委員会	
10日	区民生活委員会	
11日	連合審査会	
12日	災害対策特別委員会	
13日	清掃・リサイクル委員会	
14日	清掃・リサイクル対策特別委員会	
17日	議会運営委員会	
20日	保健福祉委員会	
27日	本会議	
	総務財政委員会	
	文教委員会	

お知らせ

◆電話番号変更
 斉藤常男議員(自民) 3313・4540
 関 昌央議員(自民) 3399・9472
 ◆住所・電話番号変更
 大槻城一議員(公明) 下高井戸5・24・1 5317・3647

年頭のごあいさつ

年頭にあたり、議会各会派のあいさつをお届けします。



政策集団として「着実に、誠実に。」 区民本位の区政を実現！

杉並区民議員倶楽部

新年あけましておめでとうございます。区民の皆様にはお健やかに新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。さて、昨年の統一地方選後、私も13名が新たに結集し、区議会第一会派として現在活動を展開しております。

会の責務をしっかりと果たして参ります。次に多様化する区民要望については政策集団として、地道な政策研究を重ね、議員立法の立案に努めて参ります。議会改革についても「土曜議会の開催」等、新たな試みが始まりますが、その歩みを緩めることなく弛まぬ改革を続けて参ります。結び、本年も皆様にとつて素晴らしい年になりますようご祈念申し上げます。

くらし、憲法を守り 希望にみちた年に

日本共産党杉並区議団

新年おめでとうございます。区民の皆様には健やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。昨年は区議団の活動に多大なご協力をいただき心よりお礼申し上げます。子ども医療費の中学生まで無料化に続き、妊婦健診助成、大企業に空前の繁栄の

一方、国民の中に貧困と格差を広げる逆立ち政治、歴史をゆがめる異常な逆流、海外派兵恒久法、消費税増税、後期高齢者医療制度導入、憲法改定で「戦争する国づくり」など危険な動きも続いています。小中学校統廃合、家庭ごみ有料化、増税を許さず、くらし・環境・憲法を守り希望の持てる新しい年とするよう全力をあげます。本年もよろしくご支援お願いいたします。

安心と希望への推進力として 改革の先頭を走ります

杉並区議会公明党

皆様、あけましておめでとうございます。日頃より公明党へ温かいご理解とご支援を賜り、心より感謝申し上げます。また、昨年の区議選で我が会派は新旧4名が交替し、新生公明党として新たな出発を致しました。これからは区

ちの暮らし、高齢者や障がいのある方たちの安心を重点とした施策を提案し、その多くが反映されました。これは、皆様の切実な思いが後押しとなつて形になったものばかりです。この1年、さらに現場第一を心がけ、区民の皆様と共に安心して暮らせる杉並のまちづくりに取り組みでまいります。本年も何卒宜しくお願い申し上げます。

時代に沿う政策の実現と 問題点の克服

社会民主党・みどり

私たちの会派は、昨年4月の改選後に社民党とみどり(無所属)で新たに構成された会派です。主要なテーマは、少子高齢化社会を豊かな社会にする。自治体レベルでワーキングプアなどの格差社会の是正を図る、

いますが、多くの問題点が予想されます。保護者・教員・地域の方々の意見をより尊重し杉並の教育・学校の発展に寄与したく考えています。また、減税自治体構想がマスコミ等で取り上げられておりますが、不透明な部分や問題点を浮き彫りにして参ります。最後になりますが、区民の皆様のご健勝とご多幸を心より祈念し、年頭のごあいさつとさせていただきます。

生活重視の政治と、共に育つ コミュニティの実現を

民主党杉並区議団

あけましておめでとうございます。区民の皆様におかれましては、ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。昨年は年金不安や所得格差、食品表示の偽装など、国民生活に直結する問題が連日報道されました。

議会改革に精力的に取り組んでおります。年頭にあたり、次の決意を申し上げます。一、延長・夜間保育など、都市型保育サービスを拡充する。一、都市型水害に対応した治水対策を整備する。一、公契約条例を制定し、契約事件の公正性・競争性を確保する。本年も民主党杉並区議団を宜しく申し上げます。

より良い区政の実現に取り組みます 区政杉並クラブ

区政杉並クラブ

あけましておめでとうございます。私たち区政杉並クラブは、政党的しがらみがない無所属という立場から、皆様お一人お一人に寄り添った目線と、区全体を見る俯瞰的な目線との両方を大切にして、日々の

を集めてより良い解決策を考へることにあります。私達は皆様のお知恵をいただき、より良い区政を実現できるよう今年も取り組んでまいります。なお、今年から「土曜議会の開催」議会のインターネット中継」を実施し、皆様に議會を傍聴いただく機会を充実いたします。ぜひ議會にも一層の関心をお持ちいただきますようお願い申し上げます。新年のご挨拶いたします。

会派別議員氏名 (五十音順)

杉並区民議員倶楽部	井口 かつ子	伊田 としゆき
民主党杉並区議団	安斉 あきら	小川 宗次郎
日本共産党杉並区議団	山田 朝子	増田 裕一
社会民主党・みどり	奥山 たえこ	小野 清人
区政杉並クラブ	いがらし ちよ	岩田 いくま
自由民主党杉並区議団	斉藤 常男	関 昌央
都政を革新する会	北島 邦彦	
無所属	堀部 やすし	
杉並わくわく会議	松尾 ゆり	
無所属区民派	けしば 誠一	
杉並区議会公明党	川原 宏之	大槻 城一
杉並区民議員倶楽部	吉田 あい	松浦 芳子
民主党杉並区議団	横山 えみ	渡辺 富士雄
日本共産党杉並区議団	小倉 順子	くすやま 美紀
社会民主党・みどり	原田 あきら	藤原 淳一
区政杉並クラブ	市橋 綾子	小松 久子
自由民主党杉並区議団	堀部 やすし	
都政を革新する会	北島 邦彦	
無所属	堀部 やすし	
杉並わくわく会議	松尾 ゆり	
無所属区民派	けしば 誠一	